

## 1. 調査報告概要表

作成日 平成19年 11月19日

## 【評価実施概要】

|               |                                          |
|---------------|------------------------------------------|
| 事業所番号         | 2170400523                               |
| 法人名           | NPO法人 ウェルネットぎふ                           |
| 事業所名          | ロングステイホーム めくもり                           |
| 所在地<br>(電話番号) | 岐阜県羽島市竹鼻町新町2504番地1<br>(電 話) 058-392-3962 |
| 評価機関名         | NPO法人 んぎふ住民福祉研究会                         |
| 所在地           | 岐阜県羽島市竹鼻町狐穴719-1                         |
| 訪問調査日         | 平成19年11月17日                              |

## 【情報提供票より】( 19 年 11 月 1 日事業所記入)

## (1)組織概要

|       |                 |                             |     |
|-------|-----------------|-----------------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成 17 年 4 月 1 日 |                             |     |
| ユニット数 | 1 ユニット          | 利用定員数計                      | 9 人 |
| 職員数   | 11 人            | 常勤 7 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 7.8 人 |     |

## (2)建物概要

|      |              |
|------|--------------|
| 建物構造 | 鉄骨 造り        |
|      | 2 階建ての 2 階部分 |

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |                               |                |         |
|---------------------|-------------------------------|----------------|---------|
| 家賃(平均月額)            | 34,500 円                      | その他の経費(月額)     | 9,000 円 |
| 敷 金                 | 有( 円) <input type="radio"/> 無 |                |         |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 円) <input type="radio"/> 無 | 有りの場合<br>償却の有無 | 有/無     |
| 食材料費                | 朝食 円                          | 昼食 円           |         |
|                     | 夕食 円                          | おやつ 円          |         |
|                     | または1日当たり                      | 1000 円         |         |

## (4)利用者の概要( 11 月 1 日現在)

|       |           |         |         |    |     |
|-------|-----------|---------|---------|----|-----|
| 利用者人数 | 9 名       | 男性      | 1 名     | 女性 | 8 名 |
| 要介護1  | 0 名       | 要介護2    | 2 名     |    |     |
| 要介護3  | 3 名       | 要介護4    | 2 名     |    |     |
| 要介護5  | 2 名       | 要支援2    | 0 名     |    |     |
| 年齢    | 平均 80.9 歳 | 最低 54 歳 | 最高 91 歳 |    |     |

## (5)協力医療機関

|         |              |
|---------|--------------|
| 協力医療機関名 | 松原医院 、 坂歯科医院 |
|---------|--------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ロングステイホーム「めくもり」では利用者の「夢」の実現への支援を理念に掲げ、地域密着型サービスに取り組んでいる。近所の方が玄関近くの掃除をしてくれたり、庭の花を持ってきてくれたりと、この理念を核にして徐々に利用者、家族、地域にサービスに対する理解が深まっている。ホームの活動の方針は法人副理事長の強いリーダーシップのもとで一貫して、職員にも浸透しているため職員は自らのケアサービスが何に向かっているのか明確になっていると言える。ホーム設立から「サービスは街の中で」という思いは、地域を強く意識した利用者の今までの暮らしを大事にする姿勢の表れであろう。今後も街中のグループホームの良さを発揮することを期待したい。

## 【重点項目への取り組み状況】

|       |                                                                                                                                                                                                           |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重点項目  | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)                                                                                                                                                                      |
| ①     | 前回の改善課題はないが、職員ミーティング等でよりよいサービスに取り組んでいる。<br>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)<br>管理者は職員ミーティングの他に日々のサービスに対する一人ひとりの職員自己評価を実施するなど職員の仕事に対する目標や思いを把握し、事業所の運営やサービスの改善に取り組んでいる。                                         |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)<br>管理者は事業所からの提案や地域の意見の吸い上げに努力している。利用者の状況報告や行事の参加依頼や行事計画への参加を実施している。また、市との連携や意見交換を積極的に行い、サービスの質の向上に努めている。                                                       |
| 重点項目③ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)<br>家族には毎月、利用者の暮らしぶり、健康状態、受け持ち職員の異動、金銭の立替について個々の状況にあわせた報告をしている。暮らしぶりでは「めくもり新聞」を発行し、行事の様子が伝えられている。運営推進会議には家族2名の参加や家族会で意見を聞いている。意見箱の設置や苦情窓口の説明をしているが、感謝の言葉は聴かれるが苦情はない。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)<br>自治会や老人会、地域の祭りや美化活動、街路灯の設置など積極的に交流するよう努めている。また、避難訓練の参加や避難場所として活用されるよう提案もしている。                                                                                                  |

## 2. 調査報告書

( ☐ 部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                           | 自己 | 項 目                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                     | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                                            |
|------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>           |    |                                                                                         |                                                                                                     |      |                                                                                                              |
| <b>1. 理念と共有</b>              |    |                                                                                         |                                                                                                     |      |                                                                                                              |
| 1                            | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 理念は利用者の「夢」の実現にむけて、地域の中でその人らしく暮らし続けるよう独自の理念を掲げている。                                                   |      |                                                                                                              |
| 2                            | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 管理者は職員と理念の共有を図るために、定例ミーティングで、理念の実践に向けた職員への啓発を行っている。さらに、日々のサービスの中で職員から行事の提案を募るなどして積極的に一貫した取り組みをしている。 | ○    | 管理者はすでにグループホームの独自の理念や方針で徹底した教育をするために、職員に独自のアンケート調査表を用いて自己評価を求め、その後面接を行い管理者のサービスに対する考えを示している。今後とも継続されるよう期待する。 |
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |    |                                                                                         |                                                                                                     |      |                                                                                                              |
| 3                            | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 事業所は自治会や老人会、地域の祭りや美化活動、街路灯の設置など積極的に交流するよう努めている。避難訓練の参加や避難場所として活用されるよう提案もしている。                       | ○    | 管理者は商店街の密集地域で昔からの民家が多い地域での特徴をふまえ、地域の方々との交流の必要性を強く感じて働きかけを行っている。今後とも根気強く、支えあいのある街づくりに努力されるよう期待する。             |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |    |                                                                                         |                                                                                                     |      |                                                                                                              |
| 4                            | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 管理者は一人ひとりの職員に対し日々のサービスについて、自己評価を実施するなど職員の仕事に対する目標や思いを把握し事業所の運営やサービスの改善に取り組んでいる。                     | ○    | 管理者は自己評価による評価の意義を理解し、職員のサービスに対する資質の向上を目指しリーダーシップを発揮している。今後、より一層職員から自発的な提案が多くなるよう検討を期待する。                     |
| 5                            | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 管理者は事業所からの提案や地域の意見の吸い上げに努力している。利用者の状況報告や行事の参加依頼や行事計画への参加を実施している。                                    | ○    | 地域の民生委員や区長の参加が毎回あり、今後とも意見の吸い上げと共に、認知症の理解や地域との交流が深まるよう期待する。                                                   |

| 外部              | 自己 | 項 目                                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                     | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)     |
|-----------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------|
| 6               | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 管理者は市との連携や意見交換を積極的に行い、サービスの質の向上に努めている。                                                              |      |                                       |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |                                                                                                      |                                                                                                     |      |                                       |
| 7               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 家族には毎月、利用者の暮らしぶり、健康状態、受け持ち職員の異動、金銭の立替えについて個々の状況にあわせた報告をしている。暮らしぶりではぬくもり新聞を発行し、行事の様子が伝えられている。        |      |                                       |
| 8               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 運営推進会議には家族2名の参加や家族会で意見を聞いている。意見箱の設置や苦情窓口の説明をしているが、感謝の言葉は聴かれるが苦情はない。                                 |      |                                       |
| 9               | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の離職時は利用者や家族に説明し、ダメージが少なくなるように努力している。新採用者には十分なオリエンテーションを行っている。                                     |      |                                       |
| 5. 人材の育成と支援     |    |                                                                                                      |                                                                                                     |      |                                       |
| 10              | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 運営者は毎週のミーティングの中で職員教育に取り組んでいる。新採用者の研修は運営者自らが、個別的指導を行っている。図書の購入は感想文を出す職員にはその費用を持つなどして学習の機会を作り啓発をしている。 | ○    | 職員は働きながらスキルアップできるよう今後もより一層の取り組みを期待する。 |
| 11              | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 3ヶ月に1回ブロック別の交流会に参加している。運営者は積極的にネットワーク作りや学習会に参加し、管理者等の教育の取り組みをしている。                                  |      |                                       |

| 外部                                 | 自己 | 項 目                                                                                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                     | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |    |                                                                                                        |                                                                                     |      |                                   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |                                                                                                        |                                                                                     |      |                                   |
| 12                                 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用者に安心して納得できるサービスを提供するために、早期からデイサービスに参加するなどできるよう家族の相談にのっている。                        |      |                                   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |                                                                                                        |                                                                                     |      |                                   |
| 13                                 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                      | 利用者の生活背景を把握し、利用者の得意なことはできるだけ生かせるよう活躍の場を提供し、職員も利用者から教えていただく機会を作りながら利用者の夢の実現に取り組んでいる。 |      |                                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |                                                                                                        |                                                                                     |      |                                   |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |                                                                                                        |                                                                                     |      |                                   |
| 14                                 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | 職員は利用者の生活歴や思いを日常の生活のかかわりの中で把握し理解している。                                               |      |                                   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |    |                                                                                                        |                                                                                     |      |                                   |
| 15                                 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している        | 職員ミーティングで話し合い、さらに本人、家族等の意見を取り入れて担当職員、ケアマネージャーが介護計画を作成している。                          |      |                                   |
| 16                                 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している    | 3ヶ月毎に介護計画の見直しを行って利用者の状況にあった介護計画を作成している。                                             |      |                                   |

| 外部                          | 自己 | 項 目                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                    | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援           |    |                                                                                             |                                                                                                                    |      |                                   |
| 17                          | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | デイサービスへの参加は利用者はもとより、近所の方の来所が突然あってもデイで過ごすことを受け入れる柔軟な対応をしている。                                                        |      |                                   |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |    |                                                                                             |                                                                                                                    |      |                                   |
| 18                          | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 主治医の定期的な往診のほかにも利用者の希望に合わせてかかりつけ医による往診や通院を支援している。                                                                   |      |                                   |
| 19                          | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | ホームの方針としては、経口摂取ができるまでは介護することを明確にしている。その上で話し合っできる援助を家族や医師等と決めている。これまで3人の利用者の終末期の介護の経験をもっているが入所の契約時には家族に説明して了解を得ている。 |      |                                   |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援   |    |                                                                                             |                                                                                                                    |      |                                   |
| 1. その人らしい暮らしの支援             |    |                                                                                             |                                                                                                                    |      |                                   |
| (1)一人ひとりの尊重                 |    |                                                                                             |                                                                                                                    |      |                                   |
| 20                          | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | ホームで個人情報に関する基本規則を持っていて記録の取り扱い、開示についても取り決めをしている。また、入所時には写真や名前の掲載等についても了解を得て取り扱うなど利用者のプライバシーや尊厳を損なうことないように対応している。    |      |                                   |
| 21                          | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 食事のペースは人それぞれという考えで、1時間以上かかる人にもせかすことないようにしている。また、起床時間も利用者の今までの生活習慣を尊重し、無理やり起こすことはせずその人の生活を大切にしている。                  |      |                                   |

| 外部                            | 自己 | 項 目                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                               | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)          |
|-------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |    |                                                                                 |                                                                               |      |                                            |
| 22                            | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 食事が暮らしの中で大きな楽しみの一つであること、女性は料理の話では会話が弾むことを踏まえて食事のことを話題にして食事を楽しく食べられる援助をしている。   |      |                                            |
| 23                            | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 一応時間帯、曜日を決めての入浴であるがケースバイケースで対応している。基本的にはゆっくり入ってもらい出ることを催促しない                  |      |                                            |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |                                                                                 |                                                                               |      |                                            |
| 24                            | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者の生活歴を踏まえて暮らしの中に役割、楽しみを見つけられるよう働きかけをしている。職員ミーティングでも利用者一人ひとりの力を見出すよう話し合っている。 |      |                                            |
| 25                            | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 毎日ではないが近くにある寺や商店街に出かけたり、ホームの外に出て朝の体操をするなどしている。                                |      |                                            |
| (4) 安心と安全を支える支援               |    |                                                                                 |                                                                               |      |                                            |
| 26                            | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 鍵による拘束感について理解し、朝から20時ころまでは玄関の鍵をかけず、居室も24時間施錠していない。                            |      |                                            |
| 27                            | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | ホーム内では夜間の避難訓練を中心に行っている。地域の中での訓練は自治会に働きかけている。現在は地域の理解と協力が得られず実現には至っていない。       | ○    | 地域の特性を理解し、今後とも根気よく働きかけて協力体制を作っていくことを期待したい。 |

| 外部                         | 自己 | 項 目                                                                                                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                           | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |                                                                                                               |                                                                                           |      |                                   |
| 28                         | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 1日5回は水分補給の機会を作っていて十分な水分補給がなされている。食事は当番制で職員が調理し、薄味で食べやすいものが提供されていた。                        |      |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |    |                                                                                                               |                                                                                           |      |                                   |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |    |                                                                                                               |                                                                                           |      |                                   |
| 29                         | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 鉄筋の既設建物であるがより光を取り入れるリフォームを行っている。また、利用者の馴染みのものを居間にも置くなどしたり、季節の花や作品の掲示で生活感や季節感を得られる工夫をしている。 |      |                                   |
| 30                         | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | ゆったりと広い居室は、利用者の馴染みのものが置いてあり、その人の使い方に合わせている。                                               |      |                                   |